



七夕講演会・観望会

7.3 金

18:00~

(開場: 17:30~)

(定員100名.先着)

大阪公立大学 杉本キャンパス
理学部 G棟 サイエンスホール

① 講演会 18:00~18:45

岩佐 貴史
大阪公立大学大学院
工学研究科 教授



宇宙へ行くための準備 (宇宙機・搭載機器の地上試験について)

現在、宇宙で稼働中の人工衛星は約14,000基とされています。人工衛星は例外なくロケットで打ち上げられます。みなさんの中にはロケット打上げを実際に見に行った人もいらっしゃるでしょう。ロケットはいつも綺麗な軌道を描き宇宙空間へ人工衛星を運びます。しかしロケットの中の人工衛星は打ち上げ時に毎回どのような荷重に耐えているのか、その大きさを含め知っている人は少ないのではないのでしょうか。本講演では、宇宙機・搭載機器が打上げ時に晒される振動環境について主に紹介し、その環境を地上でどのように模擬し宇宙機・搭載機器の健全性を検証しているか簡単に紹介します。



ロケット打ち上げ及び先端フェアリングに設置された人工衛星のイメージ図 →

② 講演会 18:50~19:35

西村 淳
国立天文台 准教授
野辺山宇宙電波観測所 所長



宇宙の電波を調べる 野辺山天文台

長野県野辺山。標高1300mに広がる高地に野辺山天文台はあります。冬は-20℃を下回る極寒の地。夏は避暑地として高原野菜や牧場牛乳を楽しめます。一際目を引く45m電波望遠鏡はミリ波と呼ばれる電波を観測するアンテナのうち世界最大級を誇り、今も世界の電波天文学をリードしています。なぜこんな場所に作ったのか、どうしてこんなに大きいのか、どんなことを調べているのか、黄色い列車の役割は何か、大阪公立大学との意外な関係、など、野辺山天文台の魅力を余すところなくご紹介します。直径45mのパラボラアンテナからなる電波望遠鏡(左の下部に黄色の列車がみえる)

国立天文台野辺山宇宙電波観測所
45m電波望遠 NAOJ



③ 4次元シアター 「2026年宇宙の旅」 19:40~20:00

④ 活動報告 工学部航空宇宙工学科2年 和田智禎 20:00~20:10

超小型人工衛星「OMUSAT-3」及び「OMUSAT-4」のミッションと開発

⑤ 観望会(天文部) 「七夕の星空」 G棟サイエンスホール前 20:10~20:30(雨天中止)

タイムスケジュールは変動する可能性があります。

大阪市博物館機構との共催による七夕講演会もあります

アルマ望遠鏡が見つめる、 熱くて冷たい宇宙の進化

日時: 2026年7月25日(土)
14:30~16:30 (開場 14:00)

会場: 大阪市立科学館
研修室(地下1階)

申し込み期限: 7月1日まで



講師: 村岡 和幸
大阪公立大学大学院
理学研究科 准教授

詳細はこちら →



会場(杉本キャンパス)へのアクセス



- ・ JR阪和線「杉本町駅」から徒歩7分
- ・ Osaka Metro御堂筋線「あびこ駅」から徒歩20分

大阪公立大学
Osaka Metropolitan University



研究室サイト 大学公式サイト